



もとみや

議会だより

第34号

平成26年4月発行



元気にお返事できました！

(岩根小学校 入学式)

予算審査	P.2～5
平成26年度一般会計 過去最大320億円の中身は!?	
議案審議	P.6～7
常任委員会審査	P.8～9
特別委員会審査	P.10～11
視察研修報告	
本議会での討論	P.12～13
意見交換会報告	P.14
本宮地区の3地区で開催	
一般質問 市政を問う 14名が登壇	P.15～22
第1回・第2回臨時会	P.23
声 議会傍聴感想(岩根小学校の皆さん)	P.24

※ H26.3.31 の住民基本台帳人口 30,895 人

8,700万円どう使う？

教育費 22億3,176万円
市民一人当たり 7万2,237円



学校教育や文化芸術に

衛生費 204億8,131万円
市民一人当たり 66万2,933円



放射能対策や健康・環境衛生に

総務費 13億5,987万円
市民一人当たり 4万4,016円
職員人件費や各種計画に

土木費 12億2,564万円
市民一人当たり 3万9,671円
道路や河川・公園整備に

公債費 10億7,773万円
市民一人当たり 3万4,884円
借金返済に(借換債含む)

商工費 7億6,664万円
市民一人当たり 2万4,814円
商工業・観光振興に

農林水産業費 5億3,394万円
市民一人当たり 1万7,282円
農林業の振興に

消防費 4億9,219万円
市民一人当たり 1万5,931円
消防・防災に

議会費 2億299万円
市民一人当たり 6,570円
議員報酬・議会運営に

労働費・予備費等 8,481万円
市民一人当たり 2,745円

民生費 36億3,013万円
市民一人当たり 11万7,499円



子ども・高齢者福祉に

26年度
予算

一般会計
過去最大

320億

この子達の未来のために!

市民一人当たり
約104万円!

3月定例会は次年度の
予算を審議する大切な
議会です

白岩幼稚園入園式

予算編成方針

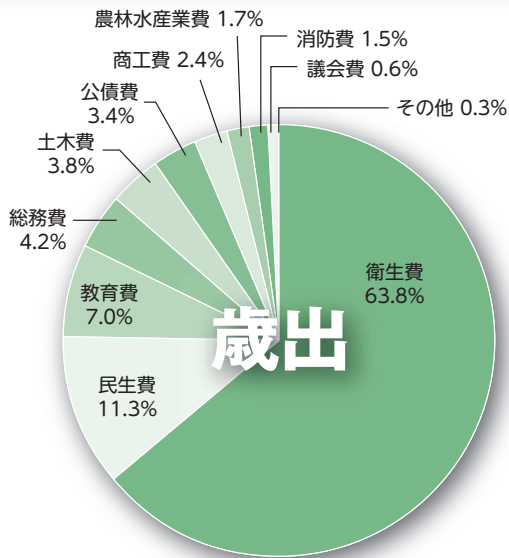
「笑顔、元気、未来へ」
復興実感!

「福島へのそのまちもとみや」

笑顔で住みよさを実感する。
震災に負けない元気を持って生
活する。元気な子どもたちを将
来につなげていく。その上で全
ての分野で復興が実感でき、市
民の皆様と共感できることを目
標として、市では、平成26年度
は次のことに特に力を入れてい
くこととしています。

- ①放射能対策
- ②本宮駅周辺東西アクセス整備
- ③子育て支援・定住化促進
- ④教育施設の整備
- ⑤白沢総合支所周辺整備
- ⑥屋外あそび場整備
- ⑦工業団地整備
- ⑧復興公営住宅・パークゴルフ
場整備
- ⑨市民の健康増進
- ⑩幹線道路の整備
- ⑪子ども屋外プール整備

このような事業を実施してい
く上で、地域・市民・行政が一
体となった協力関係を築きなが
ら、事業を実施していきたいと
考えています。

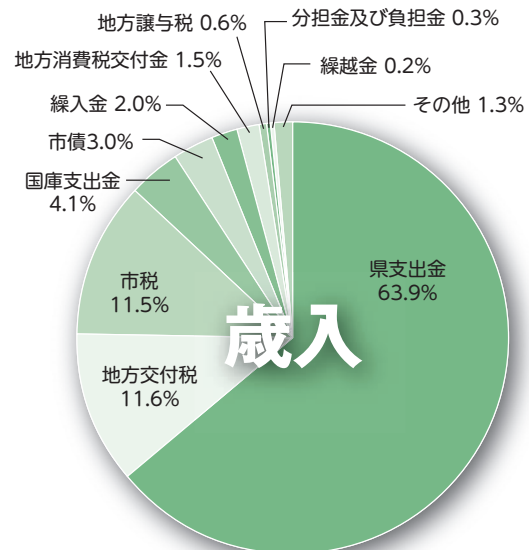


一般会計歳出内訳

衛生費	204億8,131万円
民生費	36億3,013万円
教育費	22億3,176万円
総務費	13億5,987万円
土木費	12億2,564万円
公債費	10億7,773万円
商工費	7億6,664万円
農林水産業費	5億3,394万円
消防費	4億9,219万円
議会費	2億 299万円
その他	8,481万円

一般会計歳入内訳

県支出金	204億8,870万円
地方交付税	37億3,153万円
市税	36億9,440万円
国庫支出金	13億 738万円
市債	9億4,900万円
繰入金	6億4,137万円
地方消費税交付金	4億8,571万円
地方譲与税	1億7,934万円
分担金及び負担金	1億 971万円
繰越金	8,000万円
その他	4億1,987万円



平成26年度 各会計予算額

会 計 名		予 算 額	対前年増減率(%)
一 般 会 計		320億8,700万円	70.0
国民健康保険特別会計	(事業勘定)	31億7,837万円	2.4
	(直営診療施設勘定)	1億 83万円	△6.2
後期高齢者医療特別会計		2億6,425万円	4.7
介護保険特別会計	(保険事業勘定)	21億2,822万円	5.9
	(介護サービス事業勘定)	653万円	14.4
公共下水道事業特別会計		8億 536万円	18.5
農業集落排水事業特別会計		4,780万円	△4.0
工業用地造成事業特別会計		7億4,494万円	△0.1
工業用地資産運用事業特別会計		1億1,462万円	0
阿武隈川左岸築堤用地取得事業特別会計		6,434万円	△16.6
水道事業会計		9億6,255万円	15.3
総 計		405億 481万円	50.8

つどいの広場移転の費用対効果は

民生費

問 現在まで白沢公民館で実施されていた「つどいの広場」がソレイユ本宮に移転されることに伴い家賃等を含めた一般財源からの支出が前年よりも多額になっている。これに見合う会員数の増などは見込めるのか。

答 「つどいの広場」は、その都度白沢公民館の和室を借りて行っていたが以前から常設の施設で行いたいという要望があった。今後は準備等の時間も削減され、オープンしている時間も長くなり、曜日も月曜日を除く平日に利用可能となるなど使いやすくなる。ある程度広い場所で効果的な子育てサービスができれば、今後会員数の増も期待できると考える。

消防費

自主防災組織への継続的な支援は

問 自主防災組織には設立時に20万円の補助金が交付されるが、全ての行政区に自主防災組織を設置し継続的に活動していただくことを目標とするならば、設立時のみではなく、継続的な支援を考慮した補助金制度にすべきでは。

答 現在までは組織の設置を促すための補助金ということで1団体に20万円交付し、消火器やヘルメット等必要な備品の購入に充てていた。今後は、活動費を支給するなどの支援をしていかなければ、災害時にもスムーズな対応ができないとも考えられる。時間はかかるがこれからの体制を行政区の方々とは話し合いながら検討していきたい。

平成26年度の除染の状況は

衛生費

問 当初予算で190億円を超える除染費用が計上されているが、年度内でどの程度まで進める予定なのか。今までであれば除染関係の費用は補正予算で対応していたが、そのやり方ではいけないのか。

答 この予算には住宅除染に関する費用以外に、仮置き場の造成や調査設計費も含まれている。平成25年度まではその都度補正予算で対応していたが、平成26年度に予定している残りの5地区（糠沢、荒井、本宮、青田、岩根）を発注したいため当初予算に計上した。仮置き場の設置により除染の加速化を図り、進めていきたい。

問 仮置き場が決まらないことで住宅除染が進まない現状がある。仮置き場の選定状況は。

答 糠沢、荒井、白岩、本宮地区は候補地を1箇所絞り、交渉をしていく。岩根地区は決定している。青田地区はこれから選定する。

問 仮置き場も残りの地区全て平成26年度中に発注するのか。

答 仮置き場は調査設計に時間を要するため、まだ見通しはついていない。

総括質疑

問 平成26年度より、新たな農業政策が始まる。5年後には米の生産調整が廃止され、価格の下落が予想される。本市の農産物の中で米の占める割合はかなり高いが、市長は今年度から始まる米政策について、どのような見解か。

答 福島県は米の全国での競争の中で大変不利な状況にあるが、農家の方々は対応し、生産していただいている。新たな米政策には生産者も不安や戸惑いがあると思う。競争の自由性の中でどのように不利な状況を克服するかが課題である。これは市や県単独では難しく、本市としての要望を国に伝えていかなければならない。

また、農地の集積の課題は、地域によって可能なところもある。その整理をどのように行い、いかにして耕作を続けていたか、しっかりと政策を考えたい。米だけでなく、農産物の風評被害の払拭を含め、農業全体の復興に向けて努力したい。

問 過去最大の予算を執行するに当たり、職員の数・体制は万全か。また、国の要請によって職員の給与の減額を行ったが、国の評価はどうか。交付金等に反映されるのか。

答 職員の数はこれで十分というわけではない。職員はそこの中で頑張っている。引き続き適正配置に努めたい。

国からの交付金等は明示されていないが、地域の元氣創造事業費として2,625億円を協力市町村に配分するということがある。具体的な金額が決まるのはこれからである。

問 定住人口増加対策の中で、住宅施策およびその予算が乏しい。市長はどのように住宅施策を推進するのか。

答 今回の予算は会議の予算のみである。宅地造成は、どういった住宅団地が求められているのか、市内のどこが適地なのか、その点を不動産業、建設業、工務店関係の方々や女性の視点などいろいろな形で会合を持ち、市民の方々に知恵を頂ながら、できるだけ早く補正予算を組んで対応したい。

各種会計予算など 37 議案を可決

3月 定例会

3月定例会（第3回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各種会計予算など29議案と報告1件、陳情2件が提出されました。

また、最終日には市長から議案3件、議員から発議5件が提出され、すべて原案どおり可決されました。議案の詳細はホームページをご覧ください。陳情の結果は一覧表のとおりです。

平成26年度予算の審議は2ページから5ページに詳しく掲載しています。

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	件 名	提出者の氏名	付託委員会	審議結果
陳情第1号	平成 26 年 1 月 30 日	自治会活動に停年制を導入し且つ活動の免除措置を市条例を以て制定することを求める陳情書	半 澤 義 明	生活福祉	不採択
陳情第2号	平成 26 年 1 月 31 日	要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書	公益社団法人 認知症の人と家族の会福島県支部 代表世話人 佐 藤 和 子 福島地区会代表 井 桁 ユ ウ	生活福祉	採 択

本宮駅周辺整備検討 特別委員会を設置



委員長	矢島義謙
副委員長	山本 勤
委 員	議長を除く全議員

提案理由

3月19日の定例会最終日に、本宮駅周辺整備検討特別委員会設置の議員発議が提出され、全会一致で可決されました。

本宮市第1次総合計画基本構想では、特に重点的に取り組むべき課題への対応を「重点プロジェクト」として位置づけ、重点的・横断的にまちづくりを推進していくとしている。

この重点プロジェクトでは、住環境やその他あらゆる分野で総合的・効果的な施策・事業を展開するとし、その中に本宮駅東西自由通路・西口広場を含めた駅周辺環境整備事業が掲げられている。定住促進につながる住みよいまちづくりを進めていくためには、本宮駅周辺の利便性・快適性の向上やにぎわい創出は、最重要課題の一つであり、議会としても調査・研究を行う必要がある。



第12号

第13号

平成 25 年度

一般会計補正予算 歳入歳出に 12億5千万円を増額

一般会計総額 271 億 8 千万円に

▲耐震化を前倒して進める本宮一中北校舎

一日でも早く学校の
耐震化を

今議会に提出された平成25年度一般会計補正予算（第12号）は、本宮第一中学校北校舎と五百川小学校東校舎の耐震補強を前倒して進めるための工事費や、放射能除去作業で表土を削った保育所、幼稚園、小・中学校の校庭等に覆土を行うための経費、8月5日の集中豪雨により被災した道路や公共施設等の復旧工事、財政調整基金への積み立て金などが計上されました。

議会最終日には、五百川・岩根小学校、岩根幼稚園等の遊具を更新するための経費や高木および本宮地区の仮置き場を設置するための経費を計上した一般会計補正予算（第13号）が提出されました。



議案質疑

給食費未納分の徴収は

問 補正予算で学校給食費の未納分を一時立て替えるということだが、過年度分の徴収はどのような状況か。

答 納入の実績は、給食センター分が2万5,698円、自校給食分が4万9,300円である。

委託料減額の内容は

問 林業振興費の委託料で740万円ほど減額補正となっている。これは森林再生事業の全体計画が簡略化されたことに伴うということだが、その詳細は。

答 この事業の全体計画書を作成する中で、当初は現地調査や住民への聞き取り調査の実務が含まれていたが、今回その部分が全体計画作成後の年度別計画に移行され、人件費分が削減された。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市自主的財政健全化計画の変更についてのほか5件の議案が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

本宮市自主的財政健全化計画の変更について

基金の残高は適正か

説明 平成22年度の第2次改訂版から3年が経過し、東日本大震災および原子力災害等に伴い、財政を取り巻く状況が大きく変化していることから、効率的で健全な財政運営を推進するため、第3次改訂版を策定する。

問 平成32年度末時点における財政調整基金の残高は適正か。

答 財政調整基金は、各年度の繰越金をみていないため、年度末の決算の状況を検証し、基金管理を行っていくことになる。

本宮市国土利用計画の策定について

宅地増加への施策は

説明 市の土地利用における財政上の指針となる「本宮市国土利用計画」を策定する。

問 本宮市で目指している宅地の増加を実現するための具体的な施策はどのように考えているのか。

答 平成26年度予算において定住促進費を計上しており、民間事業者と連携しながら定住促進策の検討を予定している。定住対策は、市の重要な課題であるとして認識しており、実施できるものは、随時行っていくきたい。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、和田地区仮置場設置工事請負契約の一部を変更する契約についてのほか、議案1件、陳情2件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

和田地区仮置場設置工事請負契約の一部を変更する契約について

変更の理由と内容は

説明 今年度、和田地区の住宅除染が完了し、廃棄土壌の運搬・フレコンバッグの据付工事も完了した。平成24年度からの繰越事業であるため、工事完了前に工事費用等を精査し、変更契約をするものである。

問 変更契約の理由および内容は。

答 市として初めての仮置場設置工事の発注であり、2年度にわたる長期契約となったことから、受注業者に与える負担が大きいと見え、今年度末で精査するのが妥当であると考えた。

陳情の審査結果

陳情第1号「自治会活動に停年制を導入し且つ活動の免除措置を市条例を以て制定することを求める陳情書」は、市条例で定める内容ではなく、あくまでも自治会で協議し、決定するものであると考えることから、不採択とすべきと決定しました。

陳情第2号「要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書」は、将来の介護保険財源確保のため、また、市町村事業として医療費抑制を図るべきとの意見もありましたが、将来の住民サービスの低下や利用料の負担増等の不安を考慮すれば採択すべきとの意見が多数を占め、採決の結果、採択すべきと決定しました。

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、付託された議案がなかったため、所管事項調査を実施しました。
主な内容は、次のとおりです。

2月8日から16日にか
ける豪雪被害について

委員会では、今回の豪雪により被害を受けた、ビニールハウス等の現地調査を実施しました。

雪害に対する支援は

問 今回の豪雪で被害を受けた農業施設の撤去や再建などについて、支援はどの程度になるのか。

答 まだ決定していない部分が多いが、今回の被害が原因で農業をやめるということのないよう、継続していくための支援を行う考えである。

問 支援の内容等について、市ではどのように周知するのか。

答 被害の報告があった方には、直接連絡をさせていた。また、その他の方には、広報もとみやの号外でも周知したい。



▲雪害現地調査（高木字沢目地内）

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会には、本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定についての1件の議案が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会室での審査

本宮市道路占用料徴収 条例の一部を改正する 条例制定について

改正による影響は

説明 平成26年4月1日から施行される消費税の改正に伴い、条例上の消費税率および地方消費税率など、所要の改正を行うものである。

改正の内容は、一つ目に、道路占用料は、土地の貸付に係る対価に該当するため、消費税法の規

定では非課税となっていないが、消費税法施行令において、土地の貸付に係る期間が一ヶ月に満たない場合は、課税対象とする例外規定が定められていることから、占用料に係る消費税率を改正する。

二つ目に、平成25年4月に国営林野事業が、国営企業としての形態を廃止したことに伴い、道路占用料を徴収できる国の事業が無くなったことから、その条文を削除する。

問 今回の改正により影響がある、期間が一ヶ月未満の占用物件の年間の占用料徴収状況等は。

答 一ヶ月未満の占用は、一般住宅の工事に伴う建築用足場の設置などの限られた事案であり、年間1、2件の申請がある。1㎡あたり200円の占用料であることから、1件につき1,000円にも満たない状況である。

東日本大震災対策特別委員会 今後も調査・検討を継続

2月10日開催の委員会では、「仮置き場及び住宅除染の進捗状況」「道路及び山林の除染」「農産物のモニタリングの状況」「市民の健康調査の状況」「農業用水路の除染」「ため池の線量」「学校給食の地元産野菜の使用開始」「公共施設（都市公園・教育施設等）の除染」について、市からの説明を受けました。主な審議内容は、次のとおりです。

道路および山林の除染

住宅と道路の同時除染は

説明 道路除染は和田地区から実施予定で、住宅除染の際に実施した市道を除く地区内の全路線を対象に進める。

山林の除染については現段階で国・県から方針や方法が示されていない。

問 住宅と道路の除染を同時に実施できないか。

答 生活空間の除染が優先であり、通学路でスポット的に線量の高い場所に対応を検討する。

農業用水路の除染

早期の除染策を

説明 現在は和田・長屋地区を設計中で、今後は県に事業申請を行い、事業費が確定した後、発注する予定である。

問 線量の高い場所だけ実施すれば早期の除染が可能ではないか。

答 初めてのケースであり、数値を細かく測定しながらデータを蓄積し検証したい。



▲会議室での審査

議会活性化検討特別委員会 より良い意見交換会を目指して

1月17日の委員会では、11月21日に北町コミュニティセンターで開催された最初の市民との意見交換会をモデルケースとして、その結果に基づき、残りの6地区で開催する意見交換会をより良いものとするために検討を行いました。

当日の運営責任者より、開催結果の報告があり、委員からは時間配分等について質疑や意見がありました。また市民への周知について、さらに努力するべきであると意見がありました。



▲会議室での審査

委員会での協議の結果、資料の修正等を行い、1月22日には本宮地区の3会場、3月25日には白沢地区の3会場で市民との意見交換会を開催し、6地区合計で72名の市民の方に参加していただきました。なお、当日の会議録は、本宮市議会のホームページに掲載しています。

今後は各会場でいただいたご意見やご提案を集約・精査し、議会としての対応方針を協議していきます。

1月開催の市民との意見交換会の詳しい内容については、14ページをご覧ください。

議会運営委員会

議会運営・議会改革について調査

飯能市で使用されている▶
タブレット端末



2月5日に埼玉県飯能市議会を調査しました。飯能市議会では、平成24年4月から資料閲覧用にタブレット端末を全国で一番早く導入し、経費節減や事務改善を行っています。

議会改革検討会において、議会改革の一環として情報機器を活用しペーパーレス化による環境への配慮、事務効率化を図ることを視野に検討を行い、タブレット端末導入を決定しました。

本会議以外の会議資料などをデータ化し、タブレット端末から閲覧することで、年間約10万枚の紙代や会議録印刷製本費用の削減ができ、議員への通知文書や資料を電子メール送信することで通信費も削減しています。費用削減の効果により、通信料などの維持管理費や初期設備費も賄うことができますというものです。

タブレットの利用は議会内では全員協議会、各委員会、本会議の一般質問の議員作成資料の閲覧に使用され、その他に議員個人の政務活動や災害時における緊急通信等に利用されています。導入後は以前の会議資料を見たりインターネットを使った調査を行うことができ、政務活動の幅を広げることができています。

タブレット端末導入の利点はペーパーレス化に加え、災害時に映像の状況報告が即座に行えるなど大いに役立つものであり、導入の検討に生かしていきたいと考えます。



▲飯能市議場にて

議会広報特別委員会

議会広報の先進地を視察

▼吉岡町議場にて



2月12日に、群馬県吉岡町議会の議会広報を調査研修しました。

吉岡町議会は、群馬県町村議会議長会や全国町村議会広報研究会が主催する議会広報研修会に積極的に参加するなど、精力的に広報誌づくりに取り組んでいます。平成25年度の全国町村議会広報コンクールでは優秀賞（第3位）を受賞するなど、先進的な広報誌です。

広報編集にあたっては「読みやすく、わかりやすい、親しまれる」編集を心掛け、写真は人物が入った動きのある写真を使用しています。また、

傍聴感想の他に、「私もひとこと」「吉岡クイズ」など、住民が参加できるコーナーの充実が特徴です。

吉岡町議会では、広く住民からの意見や要望を聴いて、より内容を充実させ読みやすい議会だよりにするため、議会だよりモニター制度を導入し、16人の住民に委嘱して、意見交換を行っています。

吉岡町議会の編集方針や広報への熱意は大変参考になるものであり、今後の本市の議会だよりに生かしていきたいと考えます。



▲「よしおか議会だより」

本議会での討論

3月19日の本会議では、議案第23号「平成26年度本宮市一般会計予算」に対する修正案が提出され、討論が行われました。争点となった事業は以下の3点です。

- ①五百川駅に市のPR看板を設置する事業
- ②千代田橋補修工事
- ③阿武隈川の河川敷に親水公園を設置し、その中にパークゴルフ場を整備する事業

議案第23号修正案 提案理由

渡辺秀雄議員

次の事業には再度、十分な調査・検討を要すべきと判断し修正案を提出する。

①五百川駅は狭く、車の回転も難しい。朝夕の混雑もひどく、早期周辺改善が望まれている。その方策もいまだ検討の段階にないまま、駅に2m×8mの看板を600万円の予算をかけて設置することは市民の理解は得られない。それならホームを活用したより安価なPRにすべきである。

②千代田橋は、診断によるとすぐに補修が必要な状況ではなく、今回補修すれば架け替えはいつになるかわからない。昨年の3月議会で架け替えを求める陳情も採択していることから補修ではなく、早期架け替えの方向で検討すべき。

③パークゴルフ場整備の財源は確定しておらず、必要な施設整備等全体構想も不明確であり、将来の負担が心配である。左岸の整備状況によつては、堤頭のかさ上げも考えられる。避難住民との交流の場としてなら以前より要望のある恵向公園を整備して欲しい。

修正案賛成討論

国分勝広議員

①五百川駅は福島・郡山間の通勤・通学での利用が95%以上であり、その人たちに看板で何をPRするのか理解できない。

②千代田橋は架け替えの陳情を採択したにも関わらず、補修対応とするのでは市民の信頼を失う。将来の計画を示すべき。

③親水公園整備についても、親子ふれあい広場とかキャッチボール、サッカーといろいろ使えるようにする方法もある。市民が皆で考えるべきである。

原案賛成討論

根本七太議員

今回の予算は200億円近くが除染に関する費用である。やはり子どもを持つ親は不安であり、それを考えた予算編成である。県内外に避難されている方にも早急に帰還していただきたい。子ども達の命を守る予算として賛成する。

修正案反対討論

三瓶裕司議員

①五百川駅の看板設置は本市の魅力在不特定多数の人にPRするには効果的で十分理解できる。

②千代田橋は検査の結果、強度不足であるため、その目の前の危険を考慮し、架け替えは今後も検討しながらも、補修は早期に必要である。

③親水公園について、本市にはパークゴルフ場がなく、地域の方々も必要としている。

原案および修正案反対討論

渡辺忠夫議員

管理職手当の10%削減は実施すべきではない。320億円の予算を執行するにあたり、人的配置もふさわしくすべき。

千代田橋は陳情を採択していることから架け替えが順当である。五百川駅の看板もお金をかけないPRにすべきである。

農業政策では所得減にならない政策を。

給食費は上がらないように対策をすべき。

② 補修工事が行われる千代田橋



① PR看板設置予定の 五百川駅



③ パークゴルフ場予定地 (高木字長瀬地内)



3月定例会賛否一覧

賛成多数で**原案**が可決！

会 派 名		みらい創和会						新 風 会					共	無 所 属					—					
議案	議員名	川 名 正 勝	国 分 民 雄	渡 辺 善 元	円 谷 長 作	佐 々 木 広 文	渡 辺 由 紀 雄	次 藤 栄	遠 藤 孝 夫	川 名 順 子	山 本 勤	三 瓶 裕 司	菅 野 健 治	國 分 義 之	渡 辺 忠 夫	菊 田 広 嗣	橋 本 善 壽	後 藤 省 一	根 本 七 太	渡 辺 秀 雄	伊 藤 隆 一	矢 島 義 謙	国 分 勝 広	作 田 博
	議案第23号	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎

※○は原案に賛成 ●は原案および修正案に反対 ◎は修正案に賛成 欠は欠席（インフルエンザのため）

※議長（作田 博）は採決に加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

第1回 本宮市議会 市民との意見交換会

平成 26 年 1 月 22 日に本宮地区の 3 会場で開催しました。それぞれの会場での結果をご報告いたします。いただいたご意見やご提案については、議会活性化検討特別委員会でご集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。

まゆみ小学校区



会場…えぼか

参加市民…8名

出席議員…菊田広嗣、三瓶裕司、後藤省一、円谷長作、山本勤、川名正勝、国分勝広（7名）

主なご意見

- ・議員が市民の集まりなどに積極的に出向いてはどうか。
- ・会派の代表質問は行われぬのか。
- ・会派に属さない議員も政務活動費の交付を受けてはどうか。
- ・議案に対して原案可決が多い。執行部に物を申す事が出来る環境であって欲しい。

五百川小学校区



会場…荒井地区公民館

参加市民…7名

出席議員…橋本善壽、渡辺秀雄、川名順子、遠藤孝夫、渡辺由紀雄、矢島義謙、渡辺忠夫（7名）

主なご意見

- ・人口増加を見据えた、五百川駅周辺開発を進めて欲しい。
- ・五百川駅前のロータリーが狭く、子どもの送り迎え等で非常に危険。早急に改善を。
- ・荒井地区公民館周辺が暗い。街灯の設置をお願いしたい。
- ・本宮インターは国道4号線が近く便利だが、信号で渋滞してしまう。蛇ノ鼻周辺にスマートインターの設置を。

岩根小学校区



会場…岩根地区公民館

参加市民…10名

出席議員…次藤 栄、根本七太、渡辺善元、伊藤隆一、国分民雄、國分義之（6名）

主なご意見

- ・本宮一中学区地域の住民に福祉文化的施設を考えなければならぬ。平等に近い形で恩恵を受けられるよう施策を実施して欲しい。
- ・意見交換会は幼児教育や介護問題等、該当する年齢の方に絞り参集を図ってはどうか。
- ・議会だよりに期待するのは今議会で何が起きているか。紙面に限りのある中で工夫を。



当日の詳しい会議録は、本宮市議会のホームページに掲載しています。
平成 26 年 3 月 25 日開催の意見交換会の結果は、次号でお伝えします。

市政を

問

う

14人の議員が登壇



税の公平性を考えた保育料補助を



問

幼保料金は平均的に減額を

答 本市としては2段階構えの形を取る

菊田広嗣
議員

問 定住促進としての幼稚園・保育所の一部無料化で、例えば保育所で見ると無料になる子どもは62名、5千円だけ減額の子どもは254名である。同じ4,500万円の予算であれば税の公平性から見ても平均的に減額すべきでは。

答 年少および特定扶養控除廃止で負担感が増している。低所得者対策として、その負担軽減を図り、さらに子育てしやすいという実感が全体的に行き渡るよう、第三段階までは無料、第四段階以上は一律の交付という形を取っている。

問 スマートインター設置へ現況は

答 情報を収集し、検討したい

問 後期基本計画の中の一文中に「へそのまちとしての地の利を生かし」とある。スマートインターの設置は定住促進の観点から非常に有用であると考えている。以前にも質問し、調査研究するという話だったが現在の進捗状況は。

答 今年度、福島県道路整備促進協議会の中にスマートインター等を推進する部会が新たに設置された。この推進部会等の情報を収集しながら、本市におけるスマートインターのあり方を検討していきたい。

その他の質問

- ・公営住宅について
- ・農業後継者育成の施策について



お返しをPRに活用しては



問 豪雪被害者への補助の考えは

答 どのような補助が良いか検討する

橋本善壽
議員

問 30年に一度と言われている2月15日の豪雪で、農林施設やビニールハウス等に大きな被害を被った方が多くいる。これらは私有財産であるが被害者に対して本市の補助の考えは。また国や県に対して補助等の働きかけの考えは。

答 国や県の動きでは経営体制支援事業の中で補助の増高を図ると示している。市でもどのような補助が良いのか検討中である。また、2市1村とJAで県に対して補助の拡大等を要望したところである。

問 宅地内や住宅団地等にはフレコンバッグを一時保管する場所がないために除染が進められず、遅れている地区がある現実はあるのか。地域間の境界を外して、市有地や除染が終了した他地区の仮置き場での一時保管を考えては。

答 住宅が密集している地域などは、フレコンバッグを時的に置く場所が見つからず除染が実施できないという現実はある。仮置き場ができるまで一時的な置き場所の選定に努力をして、迅速な作業につなげていきたい。

問 市有地等を仮・仮置き場にしては

答 仮・仮置き場選定に努力したい

その他の質問

- ・農地中間管理機構について本市の対応は
- ・地下自由通路の防犯体制は



豪雪被害へ早急な補助を



問 ふるさと納税のお返しの検討を

答 PRの形については検討したい

後藤省一
議員

問 ふるさと納税をされる方は、本市に強い想いを持って寄附されている。その方々に寄附金の半分程度の本市産の米や野菜、宿泊チケット等を送り、寄附者の地元で分けていただき本宮を知っていただいたり、来ていただくという考えは。

答 ふるさと納税は本人の善意により寄せていただいたもので、それに対し品物を返すということとは現在考えていない。本宮市を懐かしんでいたたり、PRすることについては方法を検討したい。

問 本市における雇用対策は

答 企業誘致など対策を進めている

問 福島労働局の発表によると県内の求人倍率が1.3倍と21年ぶりに高水準となったが、震災関係や業種別人手不足のミスマッチが大きな課題とあった。そのような中で、本市の雇用対策は。

答 まず市内での雇用の場確保のため企業誘致を推進し、さらに現存の企業および新たに進出する企業には地元出身者の雇用を働きかける。新卒者には2市1村でハローワークと連携し、地元企業による求人説明会を実施している。

その他の質問

- ・学力向上の取り組みについて
- ・市民の歌について



パークゴルフ場の設置要望がある恵向公園



問 パークゴルフ場は既存施設整備で

答 親水公園を造ることが第一義

渡辺秀雄
議員

問 阿武隈川の河川敷に約3,500万円かけて親水公園・パークゴルフ場を整備する計画は、トイレや駐車場、道路の舗装など後年度負担が多く見込まれる。恵向公園は以前から市民の要望もある。既存施設を活用すべきでは。

答 阿武隈川の築堤事業で親水公園の検討を行ってきた中、親水公園であればパークゴルフ場という提案があり検討したもので、第一義は親水公園を造ることである。トイレや駐車場等は財源的な部分も含めて国土交通省と協議していく。

問 本宮駅西口整備の効果は

答 地域の魅力向上や活性化を図る

問 人口も本宮駅利用者も減少している現状を考えると、東西自由通路および西口広場整備は、定住促進やにぎわいづくりに本当に効果があるのか。どう予測しているのか。

答 生活環境や小売り環境、活動の場の創出により多様な世代の居住の場としての魅力向上と、にぎわいの回復を図り人口の流入定着につなげる狙いがある。また東西のアクセス向上により住宅地の西側進展や、商店街等の活性化を図る。

その他の質問

- ・豪雪時における課題は
- ・本市の通園通学支援は



問 二本松・金屋線整備の現状は

答 適正な維持管理に努めたい

根本七太
議員

問 ①江口駒込間バイパス計画の現状と今後

は。
②糠沢八幡の仲川に架かる橋とそれにつながるバイパス整備の現状は。
③二本松・金屋線を整備してジョギングやサイクリングができる健康増進ロードとして国・県と一体となって進めては。

答 ①県では計画はないが、市が要望した北大沢地内の狭い箇所の拡幅など調査に着手している。

②橋は現在上部工を施工中であり、平成27年度には供用を開始したい。
③専用の整備は難しいが、そのような利用は可能である。

問 復興住宅の場所は複数の案を

答 今回は浪江町の意向を尊重した

問 復興公営住宅は、現在避難している浪江町民の方々の声を聞きながら、いくつか案を示し、その中から選択すべきと思うが市の見解は。

答 入居される方の意見も当然必要と認識するが、今回の復興公営住宅については基礎自治体として浪江町があり、町を再生して町に戻るという目的の中で、浪江町の意向を尊重した形である。

その他の質問

- ・少子化対策について
- ・工業団地の整備について



二本松・金屋線（北大沢地内）



新たな米政策への対応は

問 新年度における新たな水田農業政策に対する本市の見解は。また、農地中間管理機構の立ち上げに伴って本市の方向性は。

答 米の直接支払交付金で減額されることなど大きな影響が出てくると認識しており、説明会を開催した。また、農地中間管理機構では農地を集約した中で運営は市町村等になる。きちんとした説明を受け、市民にも説明したい。

問 今回の大雪に伴う本市の通学路の除雪対応はどうだったのか。また、高齢者世帯の除雪の支援について考えは。

答 まず1車線分の除雪を優先したため、通学路には手が回らなかった。教育委員会と連携しながら効率的な体制を考えたい。高齢者へは要援護者支援システムの活用や地域福祉計画により地域での支援の仕組みづくりに努めたい。

その他の質問

- ・財政健全化の方策について



問 農地中間管理機構への方向性は

答 きちんとした説明を受け考えたい

渡辺善元
議員



問 ファシリティマネジメント推進を

答 耐震診断を行い、検討したい

国分勝広
議員

問 急激な少子高齢化時代に入って市民税の減少と高齢者福祉費の増加により、中長期の財政は厳しくなる。それに備えるため、公共施設の長寿命化計画の一元化を図るファシリティマネジメントを推進し、次世代の負担を軽減すべきでは。

答 国では立て替えより長寿命化の施策となってきた。本市では新年度には社会教育施設等の耐震診断を行い、その結果に基づいて耐震工事の必要性等の判断をしながら計画を作りたい。

問 水路の拡幅で浸水被害対策を

答 1箇所に集中しないよう対応する

問 昨年8月の豪雨時は堂川流域と万世地区で床下・床上浸水被害が多数あった。市民の安心のため今後の対策として一つの水路に負荷をかけないような効果的な分水と、排水路の断面積の拡幅改良を行うべきではないか。

答 分水は大雨が予想される場合、事前にゲート操作等により行っており、水路の断面積は10年確立の雨量に対する計画で進めている。昨年のような集中豪雨では厳しいが、1箇所に集中しないよう調整を図り、被害を少なくしていきたい。

その他の質問

- ・少子化対策の原因である未婚率増加に対策を
- ・へそのまち施策の効果は



浸水被害の防止を（えぼか南側水路）
ファシリティマネジメント…公共施設等を立て替えるのではなくニーズに合わせた改修等により長持ちさせ、経費も総合的に節約する方法。



地産地消の推奨のため直売所へ支援を



問 地産地消の推進策は

答 生産段階の管理や条件づくりも

円谷長作
議員

問 県消費者団体連絡協議会が昨年6月に行ったアンケート調査によれば県産品の食料を多く購入すると答えたのは67%である。食における行政の地産地消支援策は。また、直売所などの地元産品の販売場所確保について市の支援の考えは。

答 行政ができる地産地消推奨策として、地元でとれた野菜を一番先に安全に食べていくことが対外的なPRになり、さらに生産段階での管理や条件づくりも地産地消に結びつくと考ええる。直売所についてはできる限りの支援をしたい。

問 自然災害への対応は

答 地域全体で万全を期していきたい

問 人や機具等を活用した労働に加え、情報の提供などのソフト面でも市民の協力体制を作っていくべきでは。2月の豪雪により幼稚園、保育所、小・中学校が3日間に渡り休校などの影響を受けたが市の除雪対応は。

答 自然災害へは市や消防団だけでなく自主防災組織や町内会、行政区等でも万全を期していただくようお願いしたい。その中で重機等や情報連絡の協力体制を作りたい。市では1日最大で27台の重機を借り上げ除雪を行った。

その他の質問

- ・平成26年度の財政需要と財源確保策について
- ・PM2.5等気象情報の注意喚起について



問 いじめや不登校者を出さない策は

答 日頃の情報交換で未然防止を図る

菅野健治
議員

問 平成25年度のいじめの件数は。また、不登校者は何名か。

答 いじめは5件で全て中学校である。不登校は小学校が3名、中学校が31名で、うち13名は復帰の傾向にある。対策としては幼稚園・保育所、小・中学校間で家庭の状況や学習の記録等、日頃から情報交換を行い、未然防止に努めていく。

問 駅舎に複合施設を併設する考えは

答 人が集まる空間を目指したい

問 駅舎整備と併せ駅の利便性を生かした複合施設も必要である。待ち時間を活用できる図書館の新設や、老朽化した中央公民館、サンライズもとみやを移転し駅と直結させ、現在の土地は定住促進住宅用地として分譲すべきと考えるが。

答 アンケートにも図書館が必要という意見もある。市民の意見をくみ取りながら、議会の意見とも調整し進めていく。駅舎だけの機能ではにぎわい創出もできない。一番の目標である東西アクセス整備も含めて意見交換を進めていく。

その他の質問

- ・通園・通学支援について
- ・岳山ふれあいの森について



現在の施設を移転し駅と直結してみては



福島県の復興公営住宅モデルルーム

問 何十年と続いた下江堀水利組合は平成24年度をもってその歴史に幕を引いた。懸念が残るところである。平成26年度予算の中に万世・鍋田線の水路改良工事が盛り込まれているが、その他の万世・千代田地内の水路工事計画は。

答 万世・鍋田線の上流部は改良の計画がある。万世・千代田地区のその他の場所については具体的な計画はないが、現地調査をし、過去の事例を含めた中で、必要性が出てくれば他の要望箇所と併せて計画していきたい。

問 復興公営住宅整備事業は本市にとつて大きな取り組みであり、市内の関係業者にとつても同様に、意義のある重要な課題である。工事に当たっては地元が一丸となり取り組むが、業者に対する今後の市の対応は。

答 今回の復興公営住宅の整備に当たっては長期避難者生活拠点形成交付金を使い、本市が事業主体となつて事業を実施する。建設関係は市内の業者に発注することを前向きに検討し、発注方法も考えていきたい。

その他の質問

- ・自由通路および東西アクセス整備計画について
- ・橋梁長寿命化修繕計画について



問 万世・千代田地内水路工事計画は

答 現地を調査し必要があれば計画を

山本 勤
議員



問 青少年のネット依存対策は

答 講演会等を開催し啓発に努めたい

川名順子
議員

問 インターネットの普及で生活は便利になり、なくてはならないものの一つとなったが、反面、ゲームやスマホ依存になる子どもが増えている。本市での小・中学生の携帯電話の所持率およびネット依存の怖さを認識させる対策は。

答 調査では携帯で通話やメールをしていると答えたのは小学6年生37・8%、中学3年生で45・5%だった。対策としては、児童・生徒と保護者を対象に携帯安全教室などの講習会の開催や適切な使用や判断を学校で指導をしている。

問 高齢者住宅改修事業の実施状況、実績は。最近、火災が多発しており、犠牲者の多くは高齢者である。高齢者住宅改修事業は市単独事業であり、IHクッキングヒーターも条件に加えてはどうか。

答 助成額の実績は平成24年度が13件、197万7,820円、25年度が27件357万2,546円である。IHヒーターは現在も希望があればお配りしている。今後、必要性や停電時の対策等総合的に勘案し検討したい。

問 高齢者住宅改修事業の拡大は

答 今後必要性等を勘案し検討する

その他の質問

- ・ガン教育について
- ・臨時福祉給付金について



子どものスマホ依存を防ぐ対策を



道路拡幅で利便性向上へ（県道本宮停車場線）



問 県道本宮停車場線拡幅の計画は

答 平成31年度までの7年間で進める

三瓶裕司
議員

問 駅前東口広場が完成し、駅利用者の車の渋滞が緩和された。また、西口開発・東西自由通路も計画され、今後県道の拡幅整備が行われれば本宮の玄関口として利便性の向上が期待できる。現在の進捗状況と今後の計画は。

答 県では国の認可を受ければ平成25年度から平成31年度までの7年間で進める予定であり、設計・用地測量に係る説明会が開催された。今後は地権者との境界確認と事業用地測量を完了させ、一部の物件調査と用地協議に着手する予定である。

問 介護予防事業の展開は

答 サロン等で各種介護指導を行う

問 高齢化が進み年々増える要支援・介護者や高齢者の方々には積極的に講演会や運動教室に参加して元気に生活していただきたい。本市でも介護予防に「百歳体操」を取り入れるが、1次予防・2次予防の事業など今後の介護予防事業は。

答 1次予防は、誰でも参加でき、誰でもできるものを核として進めたい。百歳体操の他にふれあいサロンでの転倒予防教室や口腔教室等多様な講演会を展開したい。2次予防は把握事業の中で運動教室と口腔教室の2本立てで進めたい。

その他の質問

- ・平成25年度の防災訓練を終えての検証は
- ・大型車専用休憩所の必要性は



問 原発再稼働について市の認識は

答 将来的には原発ゼロにすべき

渡辺忠夫
議員

問 東京電力福島第1原発の「過酷事故」から3年たった今なお、13万6千人が避難生活を続けている。全産業・全分野に被害が続くが賠償はどこでも一部分のみである。このような時、国の原発再稼働、推進について市の認識は。

答 再稼働については反対の立場を示している。今後、進めるべきは代替エネルギーをどう活用していくかである。福島県以外の原発は時間がかかるかも知れないが将来的には原発はゼロにすべきと考えている。

問 今後の除雪対策は

答 行政と市民の協働を検討していく

問 2月15、16日の大雪は今までに経験のない大雪だった。除雪対策について市民からの声も多かったが今後の対策は。また、小・中学校周辺の歩道の除雪対策として、吹き飛ばせる除雪機を設置して対応することなど考えては。

答 除雪機械等の計画的な配置で効率的に除雪を行いたい。市だけで対応できない部分は、行政と市民が協働していく方策も検討していきたい。通学路を含めた歩道の除雪は、小型除雪機の配置も含め今後の課題として検討したい。

その他の質問

- ・農業振興対策について
- ・市長、副市長などの給与減額について



市民生活にも大きな影響が



問 本市の人間育成対策は

答 教師が愛情を持って接すること

矢島義謙
議員

問 県教育委員会は、本県復興の柱となる人材育成に向けて、平成26年度から算数、数学で教師の指導力を強化するコアティーチャーを選考し指導するということが、学力向上と人間育成対策の考えは。

答 コアティーチャーが導入されれば、授業に当たった際は子どもにとっても教職員にとっても学ぶ良い機会になると考えます。人間育成は教師が子どもの話に耳を傾け、受容的・共感的な態度で教育に当たることが一番大切と考えます。

問 五百川駅周辺整備計画は

答 各計画で調整を図り実施したい

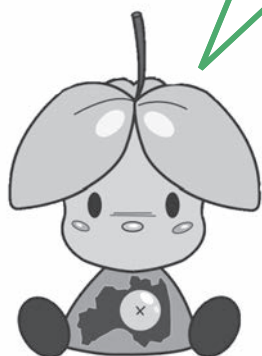
問 議会や市民から強い要望のある五百川駅周辺環境整備構想についてどのように考えているのか。また、構想があるとすれば土地の確保等をしっかりと行わなければ計画がとん挫してしまうことも考えられるがどう考えているのか。

答 市としても整備が必要であり、今後構想を早急に作成しなければならぬという認識は持っている。国土利用計画や都市計画マスタープラン等の中で有効な土地の利用や整合性を図りながら実施をしていきたい。

議会を傍聴してみませんか

暮らしやまちづくりに関する様々な事柄を、市民の皆さんに代わって決定し実行するのが、市議会と市長です。市議会と市長はお互いに話し、協調を図りながらより良い市政のために努力しています。

市役所の3階の議事堂で開かれる本会議には、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。議会の日程は、市の防災行政無線とホームページでお知らせしています。傍聴は当日、住所と名前を記入するだけで簡単にできますので、ぜひおいでください。



ホームページアドレス

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
にアクセス！

それか、「本宮市議会」で検索してね♪

その他の質問

- ・一斗内・赤坂線の改良事業について
- ・大雪により主要道路が通行できなかった理由は



早期の周辺整備が望まれる五百川駅

第2回臨時会

第11号

平成25年度一般会計補正予算
歳入歳出に

1億2,200万円を増額

みずいろ公園遊具更新工事のための
予算を計上



▲更新予定のみずいろ公園の複合遊具

2月21日に、第2回臨時会が開かれ、平成25年度の一般会計補正予算（第11号）を可決しました。

歳入・歳出のそれぞれに1億2,224万2千円を増額し、259億3,252万8千円としました。

歳出の補正内容は、みずいろ公園の遊具を更新するための工事費などを計上したものです。

歳入の主な内容は福島定住等緊急支援交付金事業補助金や、震災復興特別交付税です。

第1回臨時会

岩根小学校体育館建設工事の
請負契約を締結



▲体育館建設予定地（岩根小学校）

1月21日に、第1回臨時会が開かれ、岩根小学校体育館建設（建築主体）工事請負契約の締結や平成25年度の一般会計補正予算（第10号）を可決しました。

岩根小学校体育館建設工事の請負契約については、入札の結果落札となった光建設㈱と契約締結するために議会の議決を求めるものです。なお、契約の金額は4億5,705万6千円です。

平成25年度一般会計補正予算
歳入歳出に

第10号

3,900万円を増額

補正予算では、歳入・歳出のそれぞれに3,906万5千円を増額し、258億1,028万6千円としました。

歳出の主な補正内容は、放射能対策として市内の圃場所有者に対して、カリ肥料を配布するための経費や、8月5日集中豪雨により崩落した杵形集会所法面の災害復旧工事費などです。

歳入の主な内容は福島県営農再開支援事業補助金や災害復旧事業債を計上したものです。

声



岩根小学校6年生の43名が傍聴に訪れました。児童たちは緊張した表情で一般質問に耳を傾けていました。その中から2名の方に傍聴の感想をお聞きました。

中学校でも がんばれ!

市議会の様子を見学させてもらう前に、注意として静かに聞くということを聞いていました。見学させてもらうと、静かですごく集中してやっていたので、静かに聞くという意味がよくわかりました。

今回の議会の話し合いでは、少子化対策について話し合いをしていました。本宮市では未婚率が増加してきており、子どもが減り、高齢の方々が増えているのでどうやって支援するかを話し合っていました。このこと以外にも話し合いは続いていたが、ところどころ難しい内容もありました。他にも災害に対する対策や放射能対策など一般質問では話し合っているということがわかりました。議員さん達が話し合っていることは全部市民のためのことだということがわかりました。議員さん達のおかげで今の町が保たれているんだと思いました。

伊藤 那海 さん

僕は初めて議会に行きました。議場に入った時、テレビで見た国会議員みたいだと思いました。会議が始まって一般質問でいる時間は30分までというのがわかりました。一般質問の人が意見を述べると、議長側の人が手を挙げて議長が名前を言うとその手を挙げた人のマイクが赤く光ってから話し、話し終わると赤く光っているのが消えました。議長のマイクは、ずっと赤く光っていました。議長達が座っている椅子は、いつも机側を向いていて横を向くと自動で机側を向いたのでびっくりしました。一般質問では少子化対策の話をしていた婚活パーティなどを行うかどうかなど、難しいことばかりでした。一番びっくりしたことは、小学校の体育館を作るだけで5億円以上かかることでした。

とても良い勉強になりました。

柳沼 唯人 さん



市議会を傍聴しました。(岩根小学校6年生の皆さん)

発行責任者		議長	作田 博
広報特別委員会		委員長	後藤省一
		副委員長	次藤 栄
委員	菊田広嗣	委員	菅野健治
委員	橋本善壽	委員	遠藤孝夫
委員	国分勝広	委員	国分義之

あとがき

新年度がスタートしました。総予算400億円を超える大型予算となりました。住宅除染や仮置き場も決定され、さらなるスピード化が図られ安心・安全が実感できる年であればと願うところです。

昨年度は、大雨や大雪等による災害は甚大なものとなり、地球全体の気象変動が出ているとの発表もあります。

改めて地域の支えあいや自主防災組織の必要性を強く感じています。

今後平穏な日が続いてくれることを念願するばかりです。

(遠藤)



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

次回6月定例議会は6月10日に開催予定です。
請願・陳情の締め切りは5月29日です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問合わせ TEL33-1111 (内線 302)